

ほうでえ～

ありゃ～のう

# 周防大島町の話題



▶なむでん保存会の皆さん



## 郷土芸能を伝承「なむでん踊り」

7月7日、なむでん踊りの入魂式が久屋寺で行われ、久賀地区4箇所を巡回奉納が行われました。

「なむでん踊り」は、江戸時代に端を発する虫送り行事で、昭和49年には山口県指定無形民俗文化財に指定されました。

指導者の高齢化等により平成19年に中止に至りましたが、伝統の郷土芸能を伝承するため、平成27年に、当時こどもの部に参加していた青年たちによって復活し、今年で4年目になります。

なむでん踊り保存会の藤井俊司会長は、「次の世代に引き継いでいけるように頑張っていきたい。」と話されました。

## 献血にご協力を！



▶看護師さんとの会話を楽しみながら和やかな雰囲気です

7月13日、東和総合センター、日良居庁舎およびたちばなケアプラザで献血が行われ、37人の方に協力をお願いいただきました。

献血された輸血用血液製剤の多くは、がん（悪性新生物）の患者さんの治療に使用されています。近年では、若年層の献血者が減少傾向にあり、輸血を必要とする方々を支えていくためには、各年齢層はもとより、若年層の協力が必要です。皆さまの協力をお願いします。

周防大島では、次の献血の実施が11月に計画されています。

## 「サタフラ」開幕

さあ、今年も始まりました、「サタフラ」ことサタデーフラ。7月14日には、オーピングフェスタがグリーンステイながうらで行われ、周防大島のアロハな夏を彩るサタフラの開幕です。

初日は、グリーンステイながうらとサンシャインサザンセットで行われ、9月1日までの毎週土曜日に、前述の2会場のほか、道の駅サザンセットとうわ、竜崎温泉、八幡生涯学習のむらでも開催されます。

詳しくは周防大島観光協会ホームページまたは☎0820(72)2134まで。



▶初日は、13グループがフラを披露されました